



1948年1月17日生まれ。東京都目黒区出身。
1966年 二代目林家正楽に入門 芸名「一楽」
1988年 「林家小正楽」を襲名
2000年9月 三代目「林家正楽」を襲名

寄席紙切りの第一人者。気負いを見せない淡々とした芸で、客の注文に応じて、確実にそして綺麗に切り抜いていく。短い洒落の利いた言葉の数々、注文から出来上がりまでの流れの組み立てなど、そのセンスの良さと共に今後の活躍が期待されている。
日本で一番元気な紙切りです。

「寄席」

鈴木演芸場・新宿末廣亭・浅草演芸ホール・池袋演芸場などの寄席に出演。
他全国の落語会・地域寄席・ホール寄席にも出演。

「受賞」

1983年 第13回 国立新人演芸会金賞
1988年 第3回 選抜若手演芸大賞色物部門奨励賞
2020年 令和元年度（第70回）芸術選奨 文部科学大臣賞（大衆芸能部門）
2023年 第44回 松尾芸能賞 功労賞

----✂----「紙切り」とは----✂----

「紙切り」とは、お客さんの注文したお題の形に紙を切り抜いていく即興芸。
江戸時代に宴席の余興として披露されたことが起源で、明治時代には芸能として確立されました。
はさみ一本で作られた作品はまさに芸術品。外国人の方にも人気のある日本の伝統芸能です。